

○市長（染谷絹代） 皆さん、おはようございます。島田市長の染谷でございます。第3回の島田市女性議会の開会に当たり、一言御挨拶を申し上げたいと思います。

まず、女性議会の議員の皆様方、御応募いただきまして誠にありがとうございました。また、島田市議会の仲田副議長様以下、議会の議員の皆様方におかれましても、女性議会の趣旨を御理解いただきまして、快く本日の運営に御協力をいただいておりますこと、心より感謝を申し上げます。

さて、本日7月30日、これは旧金谷町横岡の女性たちが明治9年7月30日に日本で初めて投票権を行使したという日であります。当時は男性の、しかも所得の多いお宅の戸主、代表の世帯主1人にしか投票権がなかったのですが、この女性たちは御主人を亡くして戸主になられていた女性たちでありました。私は今、手元にその投票用紙を持ってきていないのですが、県立図書館に実は当時の投票用紙が残っておりまして、当時は投票する人のお名前だけではなくて、いわゆる議会に選ばれる議員さんのお名前を投票するだけではなくて自分の名前も書いたのです。自分の住所とお名前も書いて投票したのです。だから記名投票だったのです。その投票用紙が残っているものですから、女性の方たちが20人ちょっとですが、投票しているということが記録として残っております。その日をもって島田市の男女共同参画の日、そして静岡県男女共同参画の日の由来も、この横岡新田の女性たちが投票した、このことをきっかけとして行われているのです。ですから、全国的には高知県の女性が初めて投票したというようなことを言っているものも読んだりすることがありますが、いろいろ調べましても、この明治9年という時代にたった1回だけ女性が選挙権を行使している、この島田市が全国で一番初めに女性が参政権を行使した日だというふうに思っております。

これまで3回の女性議会を重ねまして、合わせ

て19人の皆様に議員としてこの壇上に上がっていただきました。私は3年前からこの女性議会を始めに当たって、3つのことを目的にこの女性議会をやっております。

1つは、やはり女性の方々に市政やまちづくりやそれから行政というものに関心を持っていただくこと、自分たちの身の周りのこと、声を上げていけば変わっていくのだということに関心を持っていただく、これが1つ目であります。

2つ目は、女性ならではの生活者の視点を持って日頃気づいていること、こうしたらいいのにと思っていること、こうしたことを提案していただきたい。それを私もしっかり受けとめて市政運営に反映していきたいというのが2つ目であります。

そして3つ目の願いは、女性議会を経験した方々の中から本物の議員を目指したいと思う方たちがあらわれてくること、それが私のこの女性議会にかける思いと願いでありますので、ぜひ皆様方の中にも、いずれ私、本物の島田市議会議員になるのだというような方が出てきてくれるとうれしいというふうに思っております。

今でも女性参画の機会は限られ、私も市長になってから、ふだんは男だの女だのそんなことは全く意識はしておりませんし、関係ないと思っております。しかしながら、大きな意味で言えば日本社会がいかに男性中心の社会であるかということも市長としてひしひしと感じているのも事実であります。そうした中に、男でもなく、女でもなく、そんなことを言うのではなくて、誰でもが自分の能力を発揮できる、そしてふさわしい場所でその能力を生かせる、そういう日本社会になるように、その一端をこの女性議会から発信していけたらいいと思っておりますので、今日はどうぞよろしくお願いを申し上げます。